

R4年度 鳥取県立倉吉養護学校

知的障がい教育部門 (B)・高等部 説明

キーワードは、
自立と社会参加

B高等部 教育課程と教育目標

教育課程	教育目標
【単一障がい学級】	<u>働く力・生活する力を高め</u> 、自立と社会参加に向けて、よりよく生きる生徒を育成する。
【重複障がい学級】 (Ⅰ型)	<u>周りの人との関係を広げ</u> 、意欲的に社会生活に参加する生徒を育成する。
【重複障がい学級】 (Ⅱ型)	健康的に生きる力を養い、 <u>落ち着いて</u> 社会生活に参加する生徒を育成する。

B高等部 教育課程と生徒数

		1年	2年	3年	計
単一障がい学級	学級数	1	2	2	5
	生徒数	5	9	11	25
重複障がい学級	学級数	4			4
(I型)	生徒数	2	4	3	9
(II型)	生徒数	0	1	1	2
B高等部生徒合計		7	14	15	36

B高等部 単一障がい学級 時間割

	月	火	水	木	金
1	日生	日生	日生	日生	日生
2	作業	作業	数学	自立	国語
3	作業	作業	職業	作業	生単
4	作業	作業	社会/家庭	作業	生単
給食					
5	音美/保体	音美/保体	HR	音美/保体	音美/保体
6	職業	数学	/	国語	総合

B高等部 単一障がい学級（作業学習）

各教科等を合わせた指導

【学習目標】

- ・ 作業活動を通して働くことに関心を持ち、
主体的に働く態度を育てる。
- ・ 作業全体を理解し、自分の仕事に責任を持ち、
他者と協力して作業する技能と態度を養う。

B高等部（単一） 各教科等をあわせた指導

授業名	おもな学習内容
日常生活の指導 (国数体家道自立)	着替え、朝の会 <u>(あいさつ、一日の見通し)</u> 、 <u>体力作り(ランニング・ストレッチ・体幹)</u> 等
生活単元学習 (国社数理美職道自立)	運動会、現場実習、くらよう祭、 修学旅行、校外学習等
作業学習 (国理美職家道自立)	働くことへの関心、 <u>働く意欲や態度</u> 、 あいさつ、 <u>言葉遣い</u> 、知識技能等

B高等部 単一障がい学級 (数学)

【学習目標】

- ・ 社会生活や職業生活に必要な数や量、

実務などに関する理解を深め

活用する能力と態度を育てる。

社会で生活する、
働くために、
必要な力を育てる

B高等部 単一障がい学級（職業）

【学習目標】

- ・ 働くことの大切さについて理解するとともに、

自らの適正について考え、職業生活に必要な能力を高め

実践的な態度を育てる。

現場実習、職場見学等の体験のふりかえり、
先輩から話を聴く等を通して学習していく。

B高等部 重複障がい学級（I型） 時間割

	月	火	水	木	金
1	日生	日生	日生	日生	日生
2	自立国数	自立国数	自立国数	音楽	自立国数
3	作業	作業	作業	作業	生単
4	作業	作業	作業	作業	生単
給食					
5	生単	音楽	HR	保体	保体
6	総合	日生	/	日生	日生

B高等部 重複障がい学級（Ⅱ型） 時間割

	月	火	水	木	金
1	日生	日生	日生	日生	日生
2	自立国数	自立国数	自立国数	自立国数	自立国数
3	作業	作業	作業	作業	作業
4	自立	自立	自立	自立	自立
給食					
5	生単	音楽	HR	保体	保体
6	総合	日生	/	日生	日生

B高等部 重複障がい学級（作業学習）

【学習目標】

- ・ 作業活動を通して働くことに関心を持ち、
主体的に働こうとする態度を育てる。
- ・ 働く力につながる基礎的な能力や態度を養う。

自分ができることを最大限に伸ばす。

くりかえし作業する中で成長する。

B高等部 重複障がい学級（自立・国・数）

授業名	学習目標
自立活動	障がいの状態や発達段階を踏まえて、 <u>社会生活に活かす力</u> を培う。
国語	<u>社会生活や日常生活に必要な言葉や文字</u> を理解し、表現する技能と態度を育てる。
数学	数量的な感覚を豊かにし、 <u>日常生活での数量や図形などに関する基礎的な力</u> を伸ばす。

B高等部 卒業後の進路へ向けて

	産業現場等における実習の目標	実施時期
1年	事業所等で <u>実際に働くことや生活することを体験</u> し、自分の適性を知る。	①6月、②10月
2年	<u>自分に適している仕事や生活の仕方</u> を見つける。	①6月、②10月
3年	<u>具体的な進路先</u> を決定する。	①6月、②10月 +個別実習